



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

世界へのプレゼントになろう

「世界へのプレゼントになろう」 *Be a gift to the world*

2015-16年度 RI会長/K.R.“ラビ”ラピンドラン RI/D2590ガバナー/箕田 敏彦 横浜旭RC会長/新川 尚

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F

TEL.045-365-3273

FAX.045-365-3132

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



2016年5月18日 第2243回例会 VOL. 47 No. 41

■司 会 副SAA 齋藤 善孝

■開会点鐘 会 長 新川 尚

■斉 唱 我等の生業

SL 秋内 繁

■出席報告

会 員 数	31名	本日の出席数	22名
本日の出席率	91.67%	修正出席率	95.65%

■本日の欠席者

佐藤 (真)、鈴木

■他クラブ出席者

新川、市川 (新横浜 RC)、二宮登 (川崎 RC)

■ゲスト

池戸 淳子様 (旭区長)

榎谷 直康様、押見 保様 (旭区役所)

■恵送を受けた週報

横浜瀬谷 RC

■会長報告

皆様こんにちは、今日はいかにも五月晴れといった天気です。風もなく、こんな穏やかな日は仕事を休んで自然の中でのんびりしたいものです。

前回、前々回と集めさせて頂いた熊本地震、エクアドル地震に対する義援金ですが、熊本地震は27,000円、エクアドル地震は39,000円集まりました。ご協力有難うございました。

先日、熊本地震について気になる記事を見つけたので、ご紹介したいと思います。

○熊本地震で揺らいた木造住宅の耐震基準

5月12日現在で49人が亡くなった熊本地震。震度7が2度繰り返されるという前代未聞の災害は、最新の耐震基準に基づく木造住宅さえも倒壊させた。「備えあれば憂いなし」とはいえない自然の脅威に、取るべき対策はあるか。

震度7が2回、震度6強が2回、震度6弱が3回。4月14日から20日午前10時にかけて熊本県を中心に発生した一連の地震。震度7の揺れが繰り返し同じ地点で起きたのは、気象庁の観測史上初めてのことだ。それだけではない。これら短期間に繰り返された“想定外”の強い揺れは今、建物の耐震基準をも揺るがしている。

そもそも耐震基準は、1981年の建築基準法の改正で、震度6強から7の揺れに見舞われても倒壊や崩壊を防げるだけの強度を求めてきた(新耐震)。だが、95年に起こった阪神淡路大震災では、新耐震の木造住宅でも被害が続出。そのため2000年には、木造住宅について柱と梁の接合金具や、壁の配置の仕様を明確にした(新・新耐震とも呼ばれる)。倒壊していた建物の大半は81年以前に建てられ

た旧耐震とみられる古い住宅だが、中には新耐震とみられる建物でも倒壊しているものがあったというのだ。福岡大学工学部の高山峯夫教授によると、日本建築学会九州支部による益城町での調査でも、2000年以降に建てられたとみられる新・新耐震の木造住宅でも、全壊しているものがあったという。

すなわち、最新の耐震基準であっても、今回の熊本地震には対応できなかったケースがあるということになる。現行の耐震基準は、建物が繰り返し2回以上の震度6強から7の揺れに見舞われることを「想定していなかった」のだ。一方で、「新耐震の建物でも、地盤の断層のずれが原因で倒壊に至った例があると聞いた」（あるゼネコン幹部）との話もあり、地盤による影響もなくはない。

熊本地震で倒壊した建物の耐震基準については、国交省建築指導課は「調査中」としているが、その結果次第では、繰り返しの強い揺れにも耐えられるように耐震基準が見直される可能性もあり得る。

耐震基準を満たさない古い住宅が全国に約900万戸も残っているなか、最新の耐震基準でさえも、被害を十分に防ぎ切れないことが判明したかたちとなり、今後の早急な対策が必要と思われます。

○地区関係

報告はございません。

■国際ロータリー第2590地区2015～2016年度第6回第5グループ会長・幹事会報告

日時 2016年5月11日

場所 新横浜国際ホテル

○報告事項

1) 賀詞交換会について

開催日時 2017年1月31日(火)

開催場所 新横浜国際ホテル

2) 大経営講演会について

次年度のIMは開催しない。

2017年4月22日(土)大経営講演会として県民ホールにて開催予定。

3) 次年度ガバナー補佐からの報告

当クラブに年度前クラブ協議会で重要事項

の説明訪問予定だったが、諸事情により通常例会に5分程度の訪問となった。

■雑誌委員会

滝澤 亮

ロータリーの友5月号を読んで

横組の1ページ目にRI会長K. R. RAVINDRAN氏が、「ロータリーの物語は書き換えられなければならない」と題しケニアのカノ平原のある地域での水供給の改善事業を引き受け地元の代表者の望むとおりに工事を始めると、地元の女性グループから即座に反対の声が上がり、それをよく調べると地元の何世帯もが使う生活水源を奪おうとしていたことが分かった。この開発プロジェクトは一からやり直しになった。

なぜこんなことが起きたのか考えてみると地域住民を代表するグループがすべて男性で、誰一人として女性の声を聴かなかったからです。地域のニーズとリソースを理解していたのは女性たちであるのは明白でした。

ロータリーに女性が入会するようになったのはわずか30年ほど前のことですが、それ以来、ロータリーが最も生産的な状況であるのは偶然ではありません。1995年当時、女性会員は20人に1人にすぎませんでした。今では5人に1人の割合です。進歩していますが、まだ十分ではありません。(日本では、20人に1人)男女平等に関するロータリーの方針は非常に明確です。

しかし、ほぼ5分の1のクラブは、女性の入会を拒み続けています。(日本では、約4割)会員になるにふさわしい女性が見つからないというのです。そう論じるロータリアンに対して、その方こそ、ロータリアンに求められるもっとも基本的な2つの資質、すなわち「誠実さ」と「良識」が欠けている。

女性への門戸を閉ざすクラブは、もちうる才能、能力、人間の半分以上を見逃しています。地域社会や人々への奉仕に欠かせない、全体像を失っているのです。そうすれば、入会見込み者にとっては魅力のない団体と映るに違いありません。特にロータリーの未来に欠かせない若い層を失うこととなります。

私たちはポール・ハリスの時代に生きているふりをするわけにはいきません。ハリスが誇りに思えるようなロータリーの物語を共につづっていきましょう。

続きまして、横組み9ページに地区大会でこども美術展開催の記事が五十嵐会員の投稿が掲載されております。

第2590地区の美術親睦活動グループは11月14日の地区大会の会場ロビーで「ロータリーこども美術展」を開催した記事が出ています。地区内会員の子女はもとより、東日本大震災の復興支援で縁のある宮城県の子どもの作品も加わり、400点余りを展示することができました。子どもたちの作品のおかげで、いつもとは少し違った和やかな地区大会を演出できたようです。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

新川 尚／池戸区長、榎谷さん、押見さん、お忙しい中ようこそお越し下さいました。今後も宜しくお願い致します。

市川 慎二／旭区長、本日はお忙しい中、有難うございます。

二宮 登／池戸旭区長様、ご多忙中旭ロータリーにお越しいただき有難うございます。

吉原 則光／旭区長池戸様、公務ご多忙のところ、ご来会くださる有り難うございます。旭区のお話楽しみです。よろしく申し上げます。

関口 友宏／池戸旭区長をお迎えして。

佐藤 利明／旭区長池戸淳子様、ご公務ご多忙中の中、卓話有難うございます。

福村 正／池戸旭区長をお迎えして。

田川 富男／池戸旭区長様、横浜旭ロータリークラブにようこそ。今後とも宜しくお願い致します。

本山 雄三／池戸区長、ようこそいらっしゃいました。

岡田 清七／池戸区長様、旭ロータリークラブの例会での卓話楽しみに聞かせていただきます。

滝澤 亮／池戸新区長様、本日は宜しく申し上げます。

齋藤 善孝／旭区長池戸淳子様、本日はお忙しい中、卓話を引き受けてくださり有り難うございます。

二宮麻理子／池戸旭区長をお迎えして。本日はよろしく申し上げます。

五十嵐 正／新旭区長、池戸さんをお迎えして。本日の卓話よろしく申し上げます。

安藤 公一／池戸区長、ようこそお出で頂きました。卓話宜しくお願い致します。

青木 邦弘／池戸区長様、お忙しい中、本日は有難うございます。

漆原恵利子／旭区長、池戸淳子様、本日はようこそおいで下さいました。またお会いできて嬉しく存じます。卓話よろしく申し上げます。

■卓話

未来に向かって可能性の広がるまち「旭」
旭区長 池戸 淳子様



旭区の現状

	項目	旭区	横浜市全体	市内順位	基準年月
①	人口	247,234人	3,726,167人	5位	27年10月
②	面積	32.78 km ²	435.23 km ²	3位	27年10月
③	高齢化率	27.4%	23.1%	2位	27年10月
④	高齢人口(65歳以上)	68,375人	860,975人	1位	27年9月
⑤	合計特殊出生率	1.26	1.34	12位	26年
⑥	ひとり親世帯数	1,862世帯	23,251世帯	2位	27年3月
⑦	自治会町内会加入率	80.4%	75.5%	5位	27年4月
⑧	公園面積	202か所	2,652か所	4位	27年3月
⑨	緑被率	35.0%	28.8%	5位	26年

○今後の動向

平成29年

第33回全国都市緑化よこはまフェア開催

平成 30 年

相鉄 JR 直通線開業 (30 年度内)
(仮) 二俣川南口地区市街地
再開発ビルオープン

平成 31 年

横浜動物園ズーラシア開園 20 周年
相鉄東急直通線開業
旭区制 50 周年
「鶴ヶ峰駅周辺」連続立体交差事業

○平成 28 年度旭区運営方針

基本目標 未来に向かって

可能性の広がるまち 旭

～「安心」「健やか」「ふるさと」～

施策 1.

住み慣れた地域で、安心して暮らし続ける。

施策 2.

健やかな未来をつくる。

施策 3.

ふるさと旭の魅力を高める

○よこはまウオーキングポイントについて

参加資格

①事業所

横浜市内に所在する本事業に参加意思のある法人組織の事業所、会社、社団法人、特定非営利活動法人、学校法人等

②横浜市在勤者

①で働いている 18 歳以上の方

(市外在住も対象)

参加者には無料で歩数計をプレゼント!

歩数計をもって気軽にウオーキングしましょう。市内約 1,000 ヶ所の協力店舗、施設に設置の読み取りリーダーに歩数計をのせると、歩数に応じたポイントが付与され、ポイントに応じて抽選で景品が当たります。

①専用ページで歩数データを確認! 専用ホームページで自分の歩数などの推移や歩数ランキングを確認。毎月定期レポート配信。

②歩数に応じてポイントが貯まり抽選で商品券が当たる。3 か月毎に 200 ポイント以上達成した方を対象に抽選で 3000 円相当の商品券をプレゼント。年間の累計ポイントによるダブルチャンス抽選もご用意。

③社会貢献活動への寄付につながります

途上国の子どもたちの給食支援に、参加者全員で目標歩数を達成すると、本事業所から国連 WFP に寄付。

又、追加特典として、事業単位で参加すると、事業所内、事業所間の歩数ランキングが専用ホームページで確認でき、楽しみながら健康づくりに取り組めます。

・歩数ごとのポイントについて

1 日の歩数

1 ～ 1,999 歩	0 ポイント
2,000 ～ 3,999 歩	1 ポイント
4,000 ～ 5,999 歩	2 ポイント
6,000 ～ 7,999 歩	3 ポイント
8,000 ～ 9,999 歩	4 ポイント
10,000 歩以上	5 ポイント

* 歩き過ぎにはご注意ください。

・病予防の目安

1 日 8,000 歩の継続で長寿遺伝子にスイッチをいれよう!

1 日平均 5,000 歩

要介護、認知症、心疾患
脳卒中の予防

1 日平均 8,000 歩

動脈硬化、骨粗鬆症、
ロコモティブシンドローム、
高血圧症、糖尿病の予防

1 日 10,000 歩以上

メタボリックシンドロームの予防

* 詳しくはよこはまウオーキングポイントで検索 (毎月 10 日が締め切り)

○横浜市の取組について

横浜市は横浜市中期 4 か年計画に掲げる「日本一女性が働きやすい、働きがいのある都市」の実現に向けて、女性が活躍できる環境づくりを進めます。女性活躍推進に取り組む企業に対する支援の取組を新設、充実します。

28 年度新たな支援

1) ノウハウの支援

①専門家派遣～女性活躍推進に関して、
研修や相談等の専門家の派遣

②計画策定支援～女性活躍推進法に基づく計

画策定支援説明会の実施

2) 経費補助

①助成金交付～テレワーク導入モデル

②資金調達支援～女性活躍推進等に取り組む

企業への金利優遇、信用保証料助成

3) インセンティブ・評価

公共調達における受注機会の増大

男女共同参画に関する評価項目の設定

①一般競争入札有資格者名簿

(工事、物品、委託等)

登録時の格付け点数加算

②総合評価落札方式における評価項目の設定

③委託契約プロポーザル方式における評価項目の設定、先進的に取り組んでいることを知ってほしい、企業評価につなげたい。

○女性活躍推進の経営効果について

・勤続年数の男女格差(男性の勤続年数－女性の勤続年数)が小さい企業、

・女性管理職比率(女性管理職/全管理職)が高い企業の方が、利益率が高い傾向が見られる。

■次週の卓話 6/1(水) 親睦活動フォーラム

北澤 正浩 会員担当

週報担当 五十嵐 正

2015～2016 年度 第十六回 理事会議事録	
<p>日時 平成 28 年 5 月 11 日 (水) 13 時 30 分より</p> <p>場所 例会場</p>	<p>出席者 新川 尚 青木邦弘 関口友宏 五十嵐正 田川富男 安藤公一 増田嘉一郎 佐藤真吾 太田勝典 二宮麻理子 市川慎二</p> <p>欠席者 福村 正</p>
<p>【報告事項】</p> <p>地区</p> <p>5 月 11 日 (水) 17:00～ 引継会長幹事会 新横浜国際ホテル 新川 市川 青木 北澤</p> <p>5 月 11 日 (水) 18:30～ 新横浜 RC25 周年記念例会 新横浜国際ホテル 新川 市川</p> <p>5 月 19 日 (木) 15:00～ 拡大増強・退会防止セミナー ソシア 21 新川 後藤</p> <p>クラブ</p> <p>5 月 11 日 (水) 13:30～ 第十六回理事会 例会場</p> <p>5 月 28 日～29 日 高校生被災地体験プロジェクト</p> <p>6 月 1 日 (水) 18:30 第十七回新旧合同理事会 仕立屋</p> <p>クラブ会計報告</p> <p>熊本地震義援金に対する協力依頼について</p> <p>エクアドル地震義援金に対する協力依頼について</p>	
<p>【審議事項】</p> <p>1 福村会員の委員免除について 職務多忙により、委員参加において出来る限り配慮する。 承認</p> <p>2 秋内会員の退会について 秋内繁会員より 4 月 27 日付で退会届が提出されました。6 月 30 日をもって退会を希望され、審議の結果、受理する事が承認されました。 承認</p> <p>3 その他 高校生被災地体験プロジェクトの予算について 別紙参照 承認</p>	

平成28年度4月出席率一覧表

員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	員数	会 員 名	ホームクラブ	他クラブ	出席率	
1	秋 内 繁	100	0	100	21	佐 藤 真 吾	50	50	100	
2	安 藤 公 一	100	25	125	22	佐 藤 利 明	100	0	100	
3	安 藤 達 雄	-出席規定免除-			23	関 口 友 宏	100	25	125	
4	青 木 邦 弘	100	25	125	24	杉 山 雅 彦	-4月末退会-			
5	福 村 正	100	0	100	25	鈴 木 茂 之	50	50	100	
6	後 藤 英 則	100	0	100	26	田 川 富 男	100	0	100	
7	市 川 慎 二	75	25	100	27	滝 澤 亮	100	25	125	
8	五十嵐 正	100	0	100	28	内 田 敏	-出席規定免除-			
9	北 澤 正 浩	100	25	125	29	漆 原 恵 利 子	100	0	100	
10	今 野 丁 三	-出席規定免除-			30	矢 田 昭 一	-出席規定免除-			
11	倉 本 宏 昭	-出席規定免除-			31	吉 野 寧 訓	-出席規定免除-			
12	増 田 嘉 一 郎	100	25	125	32	吉 原 則 光	-出席規定免除-			
13	本 山 雄 三	-4月末入会-			33					
14	新 川 尚	100	25	125	34					
15	二 宮 麻 理 子	50	50	100	35	高 梨 昌 芳	名 誉 会 員			
16	二 宮 登	100	0	100	36					
17	岡 田 清 七	-出席規定免除-			37					
18	太 田 勝 典	-出席規定免除-			38					
19	太 田 幸 治	-出席規定免除-			39					
20	齊 藤 善 孝	100	25	125	40					
例 会 日		6 日		13 日		20 日		27 日		平 均
例会出席率		$\frac{26}{26}$	100 %	$\frac{22}{25}$	88 %	$\frac{24}{27}$	88.89 %	$\frac{19}{23}$	82.61 %	
修正出席率		$\frac{26}{26}$	100 %	$\frac{24}{25}$	96 %	$\frac{26}{27}$	96.30 %	$\frac{22}{23}$	95.69 %	96.99 %